

「令和3年度病害虫発生予報第4号」の発表について

○向こう1か月の主要な病害虫の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

・トビイロウンカは、東海以西を中心に多発生となった昨年と同様に、本年も、東海以西で昨年よりも早い時期から本虫の誘殺が確認されており、三重県、奈良県及び長崎県から注意報が発表されています。今後の気象条件の推移によっては、昨年同様に発生が拡大することが懸念されます。

トビイロウンカの防除は、発生状況に応じた適期・適切な防除が重要となるので、都道府県病害虫防除所が発表する発生予察情報をこまめに確認することで、地域の発生状況を把握しながら、タイミングをとらえた適切な防除を実施してください。

・野菜類では、ねぎのアザミウマ類の発生が、北東北及び南関東の一部の地域で多くなると予想されています。

・果樹では、なしの黒星病の発生が、北陸及び東海の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、ぶどうの灰色かび病等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので注意してください。

国の発生予察情報について

国は都道府県の協力の下、植物防疫法（昭和25年法律第151号）に基づき、有害動植物の防除を適時で経済的なものにするため、気象、農作物の生育状況、有害動植物の発生調査の結果等を分析し、有害動植物の発生予察及び防除対策に係る情報（発生予察情報）を提供しています。

本予報は、都道府県が提供する発生予察情報を取りまとめた情報になりますので、地域における情報の詳細は、都道府県病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

病害虫防除に関する情報

参照URL:<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/index.html>

都道府県病害虫防除所

参照URL:https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/120105_boujoshou.html

気象

気象庁の向こう1か月の予報（7月1日付け）では、気温は北日本で平年並みか高く、降水量は東日本で平年並みか多いと予想されています。

気象庁ホームページ

参照URL:https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/001_00.html（外部リンク）

水稲

水稲で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
-----	------	-----------------	-------------------

水稲	稲こうじ病	北海道	北陸
	イネミズゾウムシ		南関東、東海、南九州
	セジロウンカ	東海	南関東、南九州
	トビイロウンカ	東海、近畿	中国、北九州
	ニカメイガ	北陸	北関東、東海
	斑点米カメムシ類	北東北、北陸、中国	東海、北九州
	いもち病	北陸	東北、関東、東海、近畿、四国、九州
	縞葉枯病 (ヒメトビウンカ)	関東	東海、中国
	紋枯病		東北、近畿、南九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・トビイロウンカは、東海以西を中心に多発生となった昨年と同様に、本年も、東海以西で昨年よりも早い時期から本虫の誘殺が確認されており、三重県、奈良県及び長崎県から注意報が発表されています。今後の気象条件の推移によっては、昨年同様に発生が拡大することが懸念されます。

トビイロウンカの防除は、発生状況に応じた適期・適切な防除が重要となるので、都道府県病害虫防除所が発表する発生予察情報をこまめに確認することで、地域の発生状況を把握しながら、タイミングをとらえた適切な防除を実施してください。

・斑点米カメムシ類の発生が、北東北、北陸及び中国の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は、水田周辺の雑草に生息し、出穂期になると水田に侵入し穂を加害します。このため、水田周辺雑草の除草は本虫の発生量の抑制に効果的ですが、出穂期直前の除草は、本虫の水田への侵入を助長し被害を増加させるおそれがあるため、出穂期の10日前までに完了してください。

・いもち病の発生が北陸の一部の地域で多くなると予想されています。今後、断続的な降雨がある場合には急激に発生するおそれがあります。水田の観察を行い、本病の発生状況に応じて適期に防除を実施してください。なお、一部の薬剤に対して耐性菌が発生しているので、都道府県から発表される発生予察情報等を参考に薬剤を選定してください。

野菜・花き

野菜・花きで各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
いちご	ハダニ類		東海、四国、九州
きゅうり	べと病		東北、南関東、近畿、中国
すいか	アブラムシ類	南関東	北陸
きゅうり	べと病		東北、南関東、近畿、中国
なす	ハダニ類	南関東	甲信
ねぎ	アザミウマ類	北東北、南関東	近畿
	べと病	北陸	北九州
作物共通	オオタバコガ	近畿	関東
	ハスモンヨトウ	近畿	中国、四国、南九州
アブラナ科植物全般	コナガ	北陸	北海道

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

ねぎ

・アザミウマ類の発生が、北東北及び南関東の一部の地域で多くなると予想されており、岩手県から注意報が発表されています。本虫は作物を加害するほか、多くの病原ウイルスを媒介することが知られています。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

また、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。なお、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

作物共通

・ハスモンヨトウの発生が、近畿の一部の地域で多くなると予想されており、神奈川県から注意報が発表されています。ほ場内の発生状況に注意しつつ、都道府県から発表される発生予察情報等を参考に、適期に防除を実施してください。

果樹・茶

果樹・茶で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病虫害及びその地域

作物名	病虫害名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
かき	炭そ病		東海、近畿、四国
かんきつ	かいよう病		東海、南九州、沖縄
	黒点病	東海	南関東、近畿、四国
なし	アブラムシ類	南九州	北東北、北陸
	ハマキムシ類		南関東、北陸、中国
	黒星病	北陸、東海	東北、南関東、近畿、北九州
ぶどう	灰色かび病	北東北、中国	近畿
	晩腐病		北東北、甲信、近畿
	べと病		北東北、北陸、近畿、中国
もも	せん孔細菌病	東海	北東北、北陸
りんご	黒星病	北東北	北海道、南東北
茶	チャノホソガ	東海	近畿、南九州
	ハマキムシ類		南関東、東海、近畿、九州
	炭そ病	東海、近畿	九州
果樹全般	果樹カメムシ類		北東北、近畿、中国

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

かんきつ

・黒点病の発生が、東海の一部の地域で多くなると予想されています。本病は、保菌した枯れ枝が伝染源となるため、枯れ枝を確実に除去してください。

また、降雨が続くと発生が助長されるため、天候の推移に注意し、農薬の散布間隔が空きすぎないように、降雨の合間に薬剤を散布してください。

なし

・黒星病の発生が、北陸及び東海の一部の地域で多くなると予想されており、新潟県から注意報が発表されています。昨年の発生量が多かった地域では、伝染源が多くなっていると予想されることから、特に注意が必要です。対策に当たっては、伝染源となるり病部の除去、薬剤散布等の

防除を実施してください。
また、一部の薬剤に対して耐性菌が発生しているので、都道府県から提供される発生予察情報等を参考に効果的な薬剤による防除を実施してください。

ぶどう

・灰色かび病の発生が、北東北及び中国の一部の地域で多くなると予想されています。伝染源となる病部は早期に除去するとともに、効果の高い薬剤を均一に散布するなど、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適切に防除を実施してください。本病は気温20度前後で発生が拡大しやすく、多湿条件で発病が助長されることから、園内の通気に努めてください。

茶

炭そ病の発生が、東海及び近畿の一部の地域で多くなると予想されています。本病は気温が高くなる時期に発生しやすいので、今後の発生状況に注意し、感染株は早期に抜き取り、ほ場外で適切に処分してください。また、菌の胞子のかん水などにより飛散し感染するため、かん水の際には水滴の小さい機材等の利用も検討してください。

都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

令和3年6月9日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

警報

発表はありません。

注)重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

注意報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
6月9日	鹿児島県	さつまいも	基腐病
6月10日	神奈川県	野菜・花き類	ハスモンヨトウ
6月22日	宮崎県	さつまいも	基腐病
6月25日	岩手県	ねぎ	ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ
6月25日	愛知県	かんきつ	チャノキイロアザミウマ
6月28日	奈良県	水稲	トビイロウンカ
6月30日	新潟県	なし	黒星病
7月1日	三重県	水稲	ウンカ類
7月1日	長崎県	水稲	トビイロウンカ
7月2日	愛知県	なし	黒星病
7月2日	愛知県	ぶどう	べと病
7月6日	北海道	ばれいしょ	疫病
7月6日	香川県	野菜、花き類等	シロイチモジヨトウ

注)警報を発表するほどではありませんが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

特殊報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
6月14日	群馬県	さつまいも	基腐病
6月17日	長野県	トルコギキョウ	斑点病
6月28日	大阪府	びわ	ビワキジラミ
6月29日	茨城県	さつまいも	基腐病

注)各都道府県において、新たな病虫害を発見した場合及び重要な病虫害の発消長に特異な現象が認められた場合に発表します。

病虫害の生態等の生物学的情報や防除に関する情報の詳細については、各都道府県の病虫害防除所のホームページ等を参照してください。

病虫害防除に関する留意事項

一般

・病虫害の防除を効果的に実施するためには、注意深くほ場観察を行うことにより、病虫害の発生状況を的確に把握することが必要となります。病虫害の発生は天候の影響を大きく受けるので、天候の推移に注意しつつ、各都道府県の防除指針に従い、適期に適切な防除を実施してください。

・薬剤防除を実施する場合は、病虫害が薬剤抵抗性を獲得しないように、同じ作用機作の薬剤の連用を避けてください。また、農薬の使用基準を遵守して適切な薬剤を選択するとともに、散布対象外の農作物等に農薬が飛散しないよう対策を講じてください。

露地栽培

・継続的にほ場観察を行い、病虫害の早期発見に努め、発生を認めた場合は適期に適切な防除を実施してください。

施設栽培

ウイルス病を媒介するアザミウマ類、アブラムシ類、コナジラミ類等の侵入や野外への飛び出しを防止するため、施設の開口部に防虫ネットを設置する等の対策を実施してください。また、雑草はこれら害虫の発生源となるので、施設内及び周辺の除草を定期的に行うよう努めてください。継続的にほ場観察を行い、病虫害の早期発見に努め、発生を認めた場合は適期に適切な防除を実施してください。

作物残渣は、害虫の発生源となり、り病葉及びり病果は、病害の伝染源となります。栽培終了後は、作物を枯死させ餌をなくすことで生存虫を死滅させてから搬出し、土中に埋める等、確実に処分をしてください。

施設内が過湿になると、病害の発生が助長されるため、雨水が施設内に入らないように留意するとともに、適切なかん水の実施、循環扇の設置、換気の実施、作物の株間の通風確保等により、施設内が過湿にならないように管理してください。また、病害の早期発見に努め、伝染源となるり病葉及びり病果は除去し、適期に薬剤防除を実施してください。

用語解説

(地域)

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北東北：青森県、岩手県、秋田県

南東北：宮城県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

甲信：山梨県、長野県

北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県
南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県
沖縄：沖縄県

（発生量（程度））

多い（高い）：やや多いの外側10%の度数の入る幅

やや多い（やや高い）：平年並の外側20%の度数の入る幅

平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅

やや少ない（やや低い）：平年並の外側20%の度数の入る幅

少ない（低い）：やや少ないの外側10%の度数の入る幅

（平年値は過去10年間の平均）

（参考）今後の発表予定

第5号:7月16日(金曜日)

第6号:8月4日(水曜日)

第7号:9月8日(水曜日)

第8号:10月6日(水曜日)

第9号:11月10日(水曜日)

第10号:令和4年3月9日(水曜日)

（参考）これまでの発表

第1号:4月14日(水曜日)

第2号:5月12日(水曜日)

第3号:6月9日（水曜日）

【お問合せ先】

消費・安全局植物防疫課

担当者：岡田、麻野、吉田

代表：03-3502-8111（内線内線4562）

ダイヤルイン：03-3502-3382